

三つの柱

生活支援について

生活支援の主な場は、家庭にあたる寮になります。毎日の規則正しい生活を通して、基本的な生活習慣を身につけることを目標にしています。また、集団生活を通して協調性・協力性を身につけ、思いやりの気持ち、やさしさを養います。生徒それぞれが役割を担うことによって、責任感が育ちます。

学習支援について

学習支援の主な場は本館です。本館には分校が設置され、小中学生は学習指導要領に沿った学習を行っています。また個別指導を活用したり、複数教員で授業を行うことで生徒の学習意欲を促します。

中学卒業生は、調理実習や茶道、音楽・美術・家庭科等を共通科目としています。進学希望生徒は中学校三年間の学習内容を総復習して受験に備えた学習も行います。

作業支援について

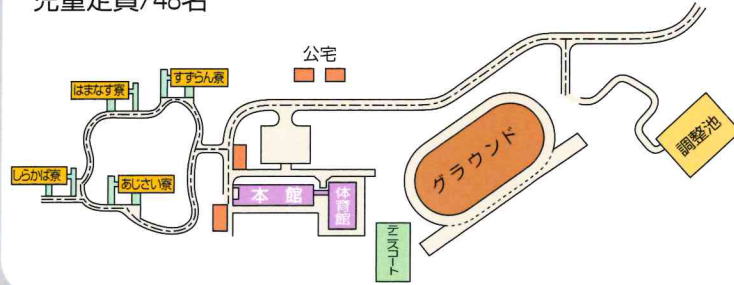
生産活動をとおして「働くこと」の意義と喜び、持久力を、集団作業をとおして協調性や責任感を養います。

農作業では、耕作から種まき、雑草取りなどを行い、収穫までを体験します。育てる喜びや、収穫する喜びを体感し、健全な情緒の安定を図ります。

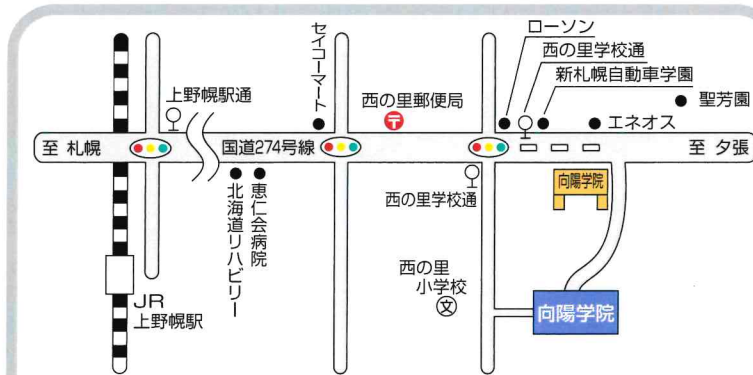
環境整備では、敷地内の草刈や芝刈、雑草取り、グラウンド整備、花壇の手入れなどを行います。また、冬には寮や本館周辺の除雪を行います。自らの生活環境を常に整備する態度や習慣を養います。

配置図

敷地面積/101,970.00㎡
建物面積/本館1,377.00㎡、体育館621.01㎡、各寮299.86㎡
児童定員/48名



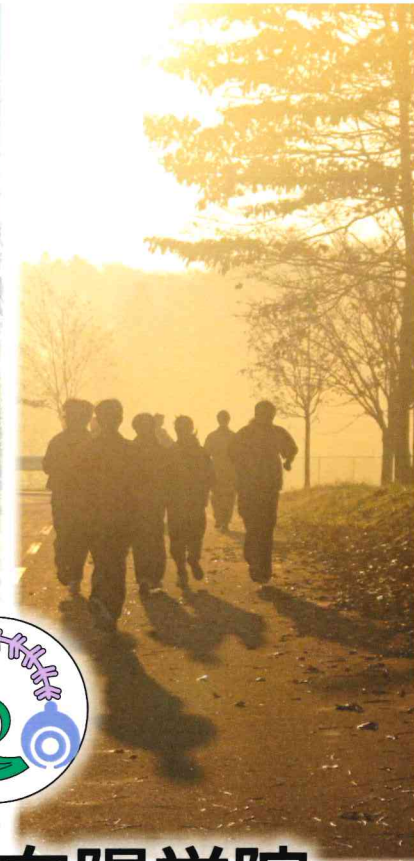
案内図



●交通

- ①地下鉄東西線大谷地駅から、JRバス③④⑤長沼線(南幌、北広島、長沼温泉、椴山行)を利用し「西の里学校通」で下車徒歩約10分です。
- ②JR千歳線上野幌駅下車、「上野幌駅通」から①と同様にJRバスをご利用ください。

児童虐待は人権侵害です!



北海道立向陽学院



〒061-1102 北広島市西の里1015番地
電話 (011) 375-3737
FAX (011) 375-3770

向陽学院とは

向陽学院は、緑が多くたくさんの動物や小鳥たちの訪れる自然豊かな環境に包まれた全国でも数少ない女子だけの児童自立支援施設です。(児童福祉法第44条)

子どもたちは、家庭的な雰囲気の寮(家庭)から、本館(分校)に通います。寮の生活は、夫婦の職員のもとに営まれています。

基本理念

- 児童は、その権利を擁護され、健康で文化的な生活、成長、適切な教育を保障される。
- 職員は、共生共育する大人として存在する。ケアワークの専門性を高め、自立支援の実践と研究を推進する。
- 施設は、地域社会の一員として存在し、地域社会へ貢献する。また、関係機関との連携や相互理解に努める。

一年の行事

(5月) 小鳥の村開村式

向陽学院では、昭和58年に知事から愛鳥モデル校に指定され、「小鳥の村」として愛鳥活動を営んでいます。



(6月) 体育祭

日々の運動の成果を発揮し、協調性を学びます。秋はマラソン大会を行います。



(7月) 海水浴キャンプ

毎年、帰省の前に二泊三日の海水浴キャンプを実施しています。

(8月) 一時帰省

夏と冬の2回実施し、家族との交流を大切にしています。

(10月) 意見発表会

自分の考えをことばに表し、大勢の前で発表する体験をします。



(11月) 学院祭

向陽学院の最大行事で、寮の出し物や日頃の学習の成果を家族や関係者など多くの方々の前で発表する場です。

(冬) ゲレンデスキー旅行・歩くスキー体験

冬のスポーツを楽しみます。



寮生活

生徒たちは、起床から就寝まで規則正しい生活をします。

楽しい雰囲気の中で食事を摂りながらマナーを身につけます。掃除の仕方もしっかりと覚え、身のまわりの整理も自分でします。学習時には、本館(分校)での勉強の予習や復習をします。

食事の準備やあとかたづけ、洗濯などは役割を分担して行います。自由時には、自分の趣味・関心ごとを中心に過ごします。



平日の日課表

6:00	起床・洗面・清掃	ランニング
7:00	朝食・食缶片付け	登校準備
8:15	本館登校	

本館日課

16:45	帰寮	洗濯・珠算・日記
18:00	夕食・食缶片付け	
18:45	寮学習	
19:30	余暇・入浴・おやつ・個別面談	
21:00	反省会・就寝	(自主学習)

他にも・・・

分校では遠足や校外学習、修学旅行、卒業式、寮での外出行事として、映画やスポーツ観戦、夏休みや冬休みなどの外出行事が企画されています。

